

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや
ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 大谷和雄
 幹事 池田隆
 会報委員長 浅井誠寿

まことの幸福は人助けから

No. 24

REAL HAPPINESS IS HELPING OTHERS

1992~93年度 RI会長 クリフォード・L・ダクターマン

第509回例会 平成5年1月19日(火)晴

◇ “奉仕の理想”

◇ 出席報告

会員 70(65)名 出席 55名
 出席率 84.62 %
 前回 1月12日 (修正出席率) 96.92%

◇ ビジター紹介 9名

◇ お誕生日祝福

石田夫人(1/4)、奥村夫人(1/21)

◇ ニコボックス

名古屋中RC 尾崎 彰彦君 新年早々に高門宮殿下ご来名の節、貴クラブの長門さんに大変お世話になりました。

黒須 一夫君 皇太子妃決定の日に「10年を振り返って」の卓話が出来るとは光栄です。

鈴木 正男君 雑誌の窓を担当させて頂きまず。

小林 明君、松居 敬二君、長門 保明君、大谷 和雄君、笹野 義春君、魚津 常義君、皇太子妃ご決定おめでとうございます。

秋山 茂則君 名東消防署長より感謝状を戴きました。

三好 親君 かんばっております。

山本 眞輔君 消防行政に貢献ということで千種消防署長より感謝状を戴きました。

石田 耕嗣君、奥村登喜朗君 夫人誕生日祝い。

菅原 宣彦君、西村 禎二君 結婚記念日祝い。

◇ 池田幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催致しますので理事役員の方はお残り下さい。

◇ 大谷会長挨拶

お正月

朝から行われた皇室会議で皇太子殿下と雅子さまのご婚約決定でまことにおめでとうございます。殿下の正月の御歌

大空に舞ひたつ鶴(たづ)の群眺む

幼な日よりのわが夢かなふ

夢が実現され、およろこびを申し上げます。

一月を正月ともいいます。一般には「お」を付けて「お正月」で、お正月様という神様がやって来られ、14~15日の「どんど焼き」で帰っていかれる。或は、高砂の尉(じょう)や姥(うば)のようなおじいさん、おばあさんが煙に乗って去っていく姿が見えるなどという所もあります。また、政治に専念した秦の始皇の降誕の月で「政月」が「正月」と書かれ、音が「しょう」に改められたともいいます。

7日は七種(くさ)の日。もと、宮中で京洛周辺の七つの野から摘んで来た野草を粥に加えて祝った行事から一般に普及しました。「公事根源」などに七草を「芹、なずな、五行、はこべら、仏の座、すずな、すずしろ」とありこれが一般的です。15日は、元日の大正月に対して、小正月。成人の日です。「望粥」「赤小豆(あずき)粥」の節供ともいわれます。これを食べ一年の邪気を払うということです。粥を煮るとき削った木「粥杖(かゆづえ)」で女性のお尻を打ったことが「枕草子」にみえます。「15日。節供まゐり据ゑ、粥の木ひき隠して、家の御たち、女房などのうかがふを、打たれじと用意して、常にうしろを心づかひしたるけしきも、いとをかしきに、いかにしたるにかあらむ、うちあてたるは、いみじう興ありて。うち笑ひたるは、いとはええし。ねたしとおもひたるも、ことわりなり。」奈良の山焼きもこの日です。

20日正月。正月の収めの日。呼び名は「頭正月」「骨正月」といって鱒の頭の骨を料理に用いるようです。行事も多く、華やかで楽しい月です。

お正月ええもんだ 雪のようなまんまくてこっばのようなとどくって

お正月ええもんだ お正月ええもんだ
 お正月ええもんだ
 ひいしのような餅くって
 あぶらのような酒飲んで
 お正月ええもんだ お正月ええもんだ
 まんまくて とどくて 酒飲んで
 すっこぼんこ誰もすべ
 お正月ええもんだ お正月ええもんだ
 福本陽一郎指揮 盛岡コメット混声合唱団
 小倉朗作曲「東北地方の民謡による五つの
 女声合唱」より

◇講演

“10年のロータリーを顧みる”

会員 黒須 一夫君



—国際ロータリー歴代会長の標語—

私は1982～85年の国際ロータリー会長の向笠広次氏の標語「人類はひとつ、世界中に友情の橋をかけよう」Mankind is one Build Bridges of Friendship Throughout the worldの言葉に強く引かれました。

「親愛なる同僚ロータリアン諸君

人類はひとつの大きな家族。すべての人間、すべての国民を含むひとつの大きな家族です。全家族の平和と幸福がなければ、個人の平和と幸福はあり得ません。

世界の平和と幸福は全人類の共通の願いである筈です。しかし、不信と猜疑が障害となって、人々が他の人々と分かち合い助け合うことを妨げています。人々が人類はひとつであることを認識する時、親睦、友情、寛容の心が生まれ、この障害に打ち勝つ力となるでしょう。

従って、ロータリーを通じて世界中に友情の橋をかけようではありませんか。そうすることによって不信と猜疑は取り除かれ、障害は克服され、そして世界の平和と人々の幸福が実現するでしょう。」

真にすばらしいと感激いたしました。

それはその前年の3月30日のレーガン大統領のピストル狙撃事件、10月3日のサグト・エジプト大統領の暗殺、同じ1982年の4月2日のフ

ォークランド戦争などにより、世界中に不信と猜疑がみられたことから、この標語に新しいぶきを感じたのであります。

それ以後、毎年7月1日に就任する国際ロータリー会長の標語と抱負に興味をもつようになりました。

国際ロータリーの定款では会長は在職年度中、国際ロータリーで、遵守する適切なテーマ、もしくは重点を選ぶことが出来るし、選ぶように奨励されております。

その年度の会長の標語は、会長エレクト、世界各国から選ばれた理事、各国、各地区のガバナー、分区代理、各ロータリーの会長、会員まで、すべての世界中のロータリー会員がその年のテーマに従って、ロータリーの行動を規定され、努力を要求されるからです。とくに国際連合憲章、極言すれば軍隊の統制に似ており、統一されています。政治色の少ないという特徴はみられますが、会長はロータリー誌 The Rotarian (日本ではロータリーの友)の7月号に今年度のテーマはどのようにしてできたか、全会員にテーマにともなう行事をどのようにしてもらいたいのか、自分はどういうようにして活動しているか、どのような成果があったかを各号に報告しています。6月号には最後にやり残した大切なことは何かという記事をのせています。

その行事は1年間で完了するものもあるが、完了しないものも多いのであります。

つぎに国際ロータリーの会長の標語をみてみますと、その時代を反映しているもの、非常にわかりやすい標語とわかりにくい標語があります。

わかりやすいのはさきほどの向笠会長の標語、1989-90年度のアメリカ ヒューチャー会長の ロータリーを楽しもう Enjoy Rotary。その言葉通りにクラブ会員が心満ちた体験になるよう、地域社会をみんなに喜ばれるところにして、住みやすく素晴らしい世界をつくらうと、まことに明快で、その時の盛田ガバナーも楽しく行事に参加され、その時会長であった私も、テーマについては比較的緊張も少なかったと記憶しています。

11年間の国際ロータリー会長の標語を先の2つを除いた標語についてみます。

1986～87年度の ロータリーは希望をもたらす フィリピンのMATカパラス会長、前年の12月25日、コラソン・アキノ女史がフィリピン大統領になり、マルコス氏はアメリカに亡命しています。フィリピン混乱時期の希望をもたらす標語ではありません。

1987～88年度の ロータリアン奉仕に結束、平和に献身 アメリカ チャールスCケーラ会長
 この前年10月11日にはレーガンとゴルバチ

ヨフソ連大統領の会談がレイキャビックでありました。

1988～89年度の ロータリーに活力を あなたの活力を ブラジル パウロレコスタ会長のもので、ブラジルの大債務国を背おって、進軍ラッパを吹きならしている感じです。

この時にハッスルした中村ガバナーはともかく、成田会長、ご苦労様でした。

今年の まことの幸福は人助けから アメリカダクターマン会長 これもわかりやすい標語です。

少しわかりにくい標語は1983～84年度の

「みんなにロータリーをみんなに奉仕を」

アメリカ ウィリアムスケルトン会長 会員を増強し、新クラブを設立して、ロータリーを分かち与え、新しいプロジェクトを始めてみんなに奉仕をとのことです。

1984～85年度の 「見つけよう奉仕の新生面」 メキシコ カルロスカンセコ会長 結論として新クラブのために新しい区域を探し、新会員をみつけて、クラブの奉仕の輪を広げるとのことだそうです。

もっとわかりにくい標語は

1984～85年度の 「あなたが鍵です」 アメリカ エドワードカドマン会長 あなたが鍵となって職業奉仕、社会奉仕、世界の扉を開いて下さいとのことです。その前年の3月7日、イラク毒ガス使用、10月31日インドラガンジー首相の暗殺などがあったためかもしれません。

1991～92年度の 自分を越えた眼 look beyond yourself はインドラジェンドラ K サブー会長ですが、インド人らしく瞑想的でかつ哲学的標語です。

前の「あなたが鍵です」と同じ意味だと思います。クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕に自分を越えた眼をもてということでしょう。

一般的についてアメリカ人に会長の場合は比較的わかりやすい標語をつくっているのに反し、その他の国の会長はむづかしく、張り切っているような標語をつくる傾向があるなという印象をうけました。

そこでロータリアンは何であろうかとあらためて疑問を持ちました。

ロータリアンの特色はロータリー問答によりますと、

- (1) 法と秩序を守り、思想、言論、集会等の自由を楽しむ
- (2) 一部の貧困は、全体の繁栄を阻害するものであるとの認識の下に、全世界の国民の生活水準を向上せしめる運動を支持し
- (3) 全人類のため正義の原則を普及し
- (4) 国家間の平和推進に努力し
- (5) 国際間の善意実現への一步として、他国

人の信仰を尊重する。

(6) 国際間の理解と善意と平和の促進にその責任を持つものであり

(7) 国家的または、人権の優越感を持たず

(8) 他の国民との協力に努める

などに協力することがロータリアンとしてあげられております。

これは国際連合、ユネスコなどの声明にしております。まじめなロータリアンになるのも大変だなあという率直な感想です。

雑誌の窓

ロータリーの友「友愛の広場」には、毎月10編掲載されているが、内容は大変バラエティに富み、かつ、読み易い。その中で最近特に感銘を受けた1月号に掲載されている「生涯最後のあいさつ」を紹介する。

横浜西クラブのY氏の寄稿で、内容は同クラブのチャーターメンバーであったS氏が病に罹り死期の迫っているのを悟って、最後の例会出席をされ一同に「お別れのあいさつ」をされた。そして、その日から9日後に84歳の生涯を終えられた。その時のあいさつの内容を要約して紹介されたものである。

S氏は外科医であった。死の2ヶ月程前に自ら肝臓ガンであることをみつけたが、多分手遅れであったのであろうか「手術や抗ガン剤は、皆の意見を聞いてやめました。これをやめたからこそ、発見してから2ヶ月の間、人と同じように暮せたのだと思っています」と話されている。また、死を前にして「どういふものか、ちっとも悲しくとも何ともないんです。痛くないことだけが、運が良かったと感謝しています。」そして、最後に「みなさん、本当に長らくお世話になりました。」と結んであいさつが終っている。

S氏は、恐らくロータリアンとしての誇りと喜びを終生抱き続けて自らの生涯を終えられたのであろう。そしてまた、死を前にして死を悲しまず、最後まで人並みに生きられたことを喜び、見事に自ら人生の幕引きをして生涯を閉じられた。

私も、いつの日か己の生涯を閉じるときには、できることなら今は亡きS氏にあやかりたいものだと思ってみたりしているこの頃である。S氏のご冥福を祈る。

担当 鈴木 正男君

◇次回例会 (1月26日)

講演 “ロータリー雑感”

会員 三輪 康君

◇次々回例会 (2月2日)

節分会 (松林寺にてP.M.6:00より)

お手紙紹介

千種ロータリーの皆様はお元気でいらっしゃいますか?もっと早くにお便りしなくてごめんなさい。

私はこちらに来てなぜか Asian Department の日本語応用言語学ではなく、Linguistics Department で言語学をするはめになってしまいました。私のやりたかった分野は今年に開講されていないということ、こちらに来てから知らされたのです。でも、遠回りのようでも応用言語学の基礎になるということなので、がんばります。

一学期の3ヵ月の間に、レポートやエッセイをタイプ用紙にして150枚以上は書かせられました。どこでもそうたかもしれませんが、読書量といふレポートの量といい、とてもhellishでした。かえって、論文だけのPH.Dとカリサーチのみのmasterの生徒の方がのんきにやっているようにみえます。外国人だからといって大目にみられる事は少なくとも私の学部ではありません。アジアからの留学生が多いからです。でも殆どが、マレーシアとか、シンガポールとかホンコンとか、英語が第一言語かまたは小学校の頃から英語で授業を受けてきた人が多いので英語で苦労すると言えば日本人かタイ人かインドネシア人位かしら。とにかく試験の時間とか締切をnativeの人より延長してもらうなんて甘い事は絶対通用しません。反対に、5%から10%を、文法や表現の未熟さからひかれることはありますが。でもこれは、大学によるみたいで、ブリスベーンのクイーンズランド大学では留学生に対する寛大な規則が学校できめられているそうです。

オーストラリアでは現在、特に若い人の中における日本語ブームは結構すごいです。ANUのBookshopでも、教育ママみたいな母親につれられて、大学生用の日本語教科書を買っていく高校生もよくみかけますし、十八才からしか入れない日本語のナイトコースを年をごまかして自分の子供をいれさせて、なるべく早くから日本語を学ばせようとする人もいるのだそうです。就職にも日本語が出来るということはとても有利なんだそうです。私は来年の一月に一ヵ月間の夏期日本語集中コースをContinuous Center of Educationというオーストラリア国立大学(ANU)直轄のセンターで教える仕事をいただきました。毎日午前3時間、午後3時間とついていく生徒も大変だと思います。ブリスベーンや、なんとかというすごく遠くの山奥からも一ヵ月間わざわざキャンベラで滞在してくる生徒さんもあるそうで、教える方もとてもいい加減にはできないな、と少し緊張しています。準

備も全部教材から自分で作らなくてはいけないので、今から準備したり、度々打ち合わせのミーティングに参加しています。成人の方が多いのだそうで、どんなクラスになるのか半分不安、半分楽しみです。

ところで、日本ではオージーは「陽気でフレンドリー」というのが決まり文句ですが、彼らを「フレンドリー」というのなら、アメリカ人は「超スーパーフレンドリー」といえそうです。私は結構オージーの友達が多いのですが、ほかのアジア圏から来た生徒達は本国ではオーストラリアは「レイシスト」で有名だという、これは又ちょっとオーバーな気がします。日本の歌い文句とは逆のイメージなんだそうで、一筋縄に「フレンドリー」とも云えない様な気がします。日本での決まり文句は旅行会社やワーキングホリデーなどで少々滞在する人の作り上げた幻想だ、というのが今こちらに来ている五人のロータリー奨学生の正直な感想です。というのも、日本人である私達は他のアジアの人と比べるとそれほどいやな思いをさせられた事も比較적인けれど、例えば、何人かで話しているとき、日本人には話し掛けるが、そばにいる他のマレーシアやシンガポール人には話し掛けないオージーとか、それこそ日本語とかに興味もなければ、アジア人は全く無視をするオージーも10代、20代でも結構いて、そういうのを見るとがっかりさせられます。

しかし、翻って考えてみれば、日本人だって一般的には西洋圏から来た人達には親切だけれど、アジア圏から来た人達は余り相手にしなかった、無視したりすることもあったと考えると、一概に自分たちのことは棚に挙げて……とも思ったりします。日本に住んでいる日本人以外のアジア人にしてみれば、今私達がいやだなと思う数倍以上のおもいをしているかもしれないですね。そう思うと、たった、一年弱の間によそ者という気持ちを起こさせずあれ程楽しませてくれた、アメリカの地はやはり色々問題はあるにしろ、外国人を受け入れる態勢はすごいな、と書いてしまいます。(それとも、私が交換で行った、二つの大学とそのまわりの街がフレンドリーで私がただラッキーだったとか?)

まあ何にしろ、まだキャンベラ以外の場所はちょこちょこしか行っていないので、私の視野が狭いせいもあるのでしょうが、この休みにもなるべく多くの人と出会う、一般的オージーに対して尊敬できる点、この国に来て本当によかったと思える点をもっと増やしていこうと思っています。